

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する

URL <https://ocu-radiology.jp/page-1392/>

| | |
|----------------------|---|
| 承認番号 | 2019-026 |
| 研究課題名 | バッドキアリ症候群における血管バルーン拡張術の予後改善効果についての後方視的研究 |
| 研究の意義・目的 | 日本で難病に指定された疾患の一つにバッドキアリ症候群があります。本疾患は下大静脈や肝静脈が閉塞するために、肝血流が鬱滞し、肝脾腫、食道胃静脈瘤、門脈圧亢進症、腹水、下肢浮腫、静脈怒張といった症状が出現し、最終的に肝不全の転帰を辿る難治性疾患です。近年その治療法として、血管内治療であるバルーン血管拡張術という手技が確立され、その安全性は認められています。しかし、治療によって肝機能改善や予後改善を示した報告はありません。本研究では、当施設で血管バルーン拡張術を施行された症例を検討し、肝機能改善や予後改善を明らかにします。これらのことが証明されると、治療を推進する上で重要な知見となります。 |
| 研究を行う期間 | 承認後 ～ 2022年12月31日 |
| 研究対象者の範囲 | 2005年1月1日から2019年9月30日の間に大阪市立大学医学部附属病院放射線科で血液検査・CT検査・血管造影検査からバッドキアリ症候群と確定診断された患者様が対象です。 |
| お願いする内容 | <p><input type="checkbox"/>大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>※CT検査の画像データや血液検査データ、診療記録等を使用させていただきます。</p> |
| 頂いた試料・情報の提供方法 | 頂いた資料や情報は提供しません。 |
| 頂いた試料・情報の管理について責任者 | 研究責任者 影山 健 大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 |
| この研究を行っている施設（共同研究機関） | 単施設です。 |
| 代表施設のURL | http://ocu-radiology.jp/ |
| 研究の成果を公表する方法 | 匿名化された個人が特定されない形で、日本医学放射線学会、日本IVR学会での発表や学術論文の掲載をいたします。 |
| 研究に協力をしたくない場合 | 下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。 |
| 連絡先 | 大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 病院講師 影山健 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 TEL: 06-6645-3831/ FAX: 06-6646-6655 E-MAIL: radiology@med.osaka-cu.ac.jp |